



MTS SYSTEMS CORPORATION



グローバル倫理規定

FY18 トレーニング資料

be certain.

この研修を通して、下記の項目を必ず理解して下さい

- ビジネスにおける倫理の重要性
- MTSの倫理規定(MTS Global Code of Ethical Business Conduct)の活用方法
- 問題があった際の相談先
- 報復に対するMTSの姿勢
- 一層深掘りされた下記のとピックスの重要性:
 - 不正行為の防止
 - 利益相反行為
 - 外部業者との関わり

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

倫理とはシンプルに「正しい行いをする」ということです。

それは、法律や規則を超えた意味を持ちます。

「継続的成長という目標を前に、常に正しいことを成す、ということが今まで以上に重要になっている。優れた業績を残すとともに顧客やビジネスパートナーに当社の理念や信条を示していかなければならない。」

Dr. Jeffrey A. Graves (ドクター ジェフリー・A・グレイブス)

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

MTS倫理規定があることで、私たち一人ひとりがどのように行動すべきか、共通認識を持つことができます。

どうすれば”正しいことを成す”ということになるのか理解しましょう。

- MTSの社員になったら、その時から本規定が適用されます。
- 私たちは自分自身の行動に責任を持たなければなりません。

MTS倫理規定の全文を読み、理解し、日々実践するようにしてください。なお、本規定は社員、取締役、役員など、全社員に適用されます。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

規定はMTS理念(Values)に基づいて作成されています

MTS理念(Values)には、MTSは信頼できる唯一無二のビジネスパートナーになるという強い信念が含まれています。

私たちは、日々の組織および個人の活動を通して、当社の理念をより高めていかなければなりません。

倫理規定の内容

- ✓ CEOおよびリスク&コンプライアンス部最高責任者からのメッセージ
- ✓ 倫理問題に関する我々の責任
- ✓ コンプライアンスと重要事項の説明
- ✓ Q&Aや実務上のアドバイス
- ✓ 社内の相談窓口



ACCOUNTABILITY



TOTAL CUSTOMER SATISFACTION



INNOVATION AND PASSION



INTEGRITY



INVEST IN OUR FUTURE



RESPECT



OPERATIONAL EXCELLENCE

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

皆さんは重要な役割をになっています

- 倫理規定の全文を読みます
- 本規定がどのように日々の業務に関わりがあるか考えます
- 倫理規定、社内の諸規定、関連する法律を遵守します
- 問題があった際はQ&A等を参照し、判断します
- 疑問を持った場合は、行動を起こす前に規定を参照します



Phyllis Nordstrom (フィリス・ノードストロム)
リスク&コンプライアンス部オフィサー

「いかなる規範やマニュアルも、すべての疑問を解決することはできません。私たちの行動がMTSの高い倫理観に沿ったものであるかの判断は、自身の良識次第です。リスク&コンプライアンス部はいつでも皆さんをサポートし、質問に回答し、問題解決のため対応します。」

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

Speak Up!

当社の倫理規定に反しているのではないかと思う場面に遭遇したら、遠慮なく質問・相談してください。

常に”Speak Up”のカルチャーを持ち続けることで、倫理規定の存在が意味を持ちます。

-
- 何らかの問題に直面した場合は、ためらわずに相談してください。
 - Speak Up(声をあげる)方法はいくつかあります。詳細は10ページをご覧ください。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

上司に課せられた責務

- 模範を行動で示します
- 法律や倫理、コンプライアンスの観点から正しい行いがどのようなものか伝え、実践することを促します
- “Speak Up”のカルチャーを根付かせます
- 社員から何らかの報告を受けた場合は速やかに上層部に伝えます
- そういった社員の倫理的行動を認め、評価します
- 社員が必ず倫理トレーニングを受講するようにします



MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

疑問が生じた場合は、行動を起こす前に規定を参照してください

正しい行いに近道はありません。難しい状況に直面した場合は、以下を自分自身に問いかけたうえで意思決定をして下さい。

- これは法律に沿ったものであるか。
- これはMTSの理念に沿ったものだろうか？
- 本社およびローカルの諸規定やプロセスに準拠しているか？
- 自分では間違っていると思うが、それでもしなくてはならないというプレッシャーを感じるか。
- 自分自身の意思決定に誇りを持てるか。



倫理規定では、日々の業務の中でどう行動すべきかを全て網羅することはできません。

また、倫理規定だけで何かを判断・判定することも困難です。ですので、疑問が生じた場合は勇気をもって相談してください。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

相談方法とその窓口



口頭で

上司、HR、各国の倫理委員会、または他の管理職



電子メール

リスク&コンプライアンス部 [MTS Risk & Compliance@mts.com](mailto:MTS_Risk_&_Compliance@mts.com)



ウェブサイトの利用

MTSアラートライン <https://alertline.com>



電話

所在国	ダイレクトアクセス番号	アラートライン番号
北アメリカ	1	888-321-5562
中国(北部地域)	108-888	888-321-5562
中国(南部地域)	108-11	888-321-5562
日本(KDDI)	00-539-111	888-321-5562
日本(NTT)	0034-811-001	888-321-5562
韓国(Korea Telecom)	00-729-11	888-321-5562
インド	000-117	888-321-5562
フランス	0800-99-0011 または 0805-701-288	888-321-5562
ドイツ	0-800-225-5288	888-321-5562
イタリア	800-172-444	888-321-5562
スウェーデン	020-799-111	888-321-5562
英国(BT)	0800-89-0011	888-321-5562
英国(C&W)	0500-89-0011	888-321-5562

当社では報復行為を許しません



MTSでは、誠意をもって質問を投げかけたり発言した人への報復行為を禁じます

- ☑ 報復行為に関与したものは誰であれ、倫理規定に違反したことになり、解雇を含む懲罰の対象となります。
- ☑ 報復行為について懸念や不安がある場合は、速やかに相談してください。



報復行為とは、問題を報告したり調査に協力した結果、同僚や上司、その他の管理職から処罰や嫌がらせを受けることを言います。



誠意とは、悪意または他を欺こうとする気持ちのない、正直な信念を指します。これは、私たちが常に正しいという意味ではありません。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>



不正行為の防止



MTSは事業への影響の大小にかかわらず、不正行為や賄賂
に対し厳格な姿勢を貫きます。

この方針は、国やそれぞれの慣習にかかわらず、全員に適用
されます。

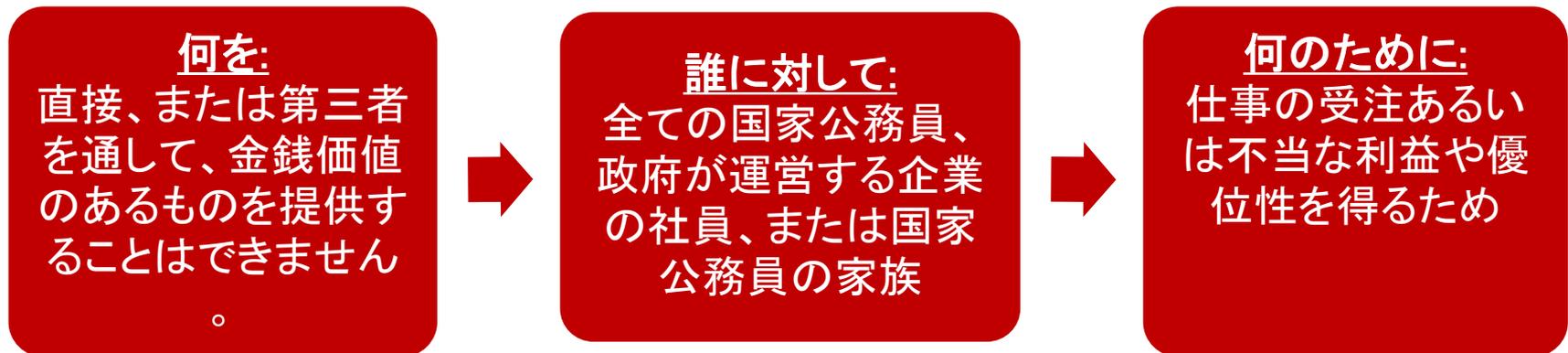
- 賄賂や不正行為の防止に関するMTSの基本方針や対処方法を読み理解します。

- 常にMTSの方針と手順に沿って業務を遂行します。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

海外腐敗行為防止法 (FCPA) とは？

FCPA (海外腐敗行為防止法) は、MTSの社員および当社に代わってビジネスを行う者が、事業を受注/確保するために、あるいは何らかの不当な利益や優位性を得るために、国家公務員に対して賄賂や類似した金品を支払うことを禁じる法律です。



MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

賄賂はどんなに少額であっても違法となります

"Anything of value (何らかの価値のあるもの)"は全て、賄賂となります。
現金のみでなく、幅広く様々なものが賄賂とみなされます。



現金
小切手
郵便為替
ディスカウントの提供
報奨金
キックバック
商品の無料での提供



国家公務員の家族
に対する奨学金など、
間接的な支援



ギフト(現地の慣習を超えたもの)
商品券
ギフトカード
慈善寄付
政治献金



コンサートチケット、
スポーツ観戦チケット、
旅行チケットなど、エンター
テイメント関係



次に挙げるような優遇措置:
資源や装置の使用
設備の使用
融資
仕事の提供
保険金の支払い



次に挙げるようなもてなし:

食事
飲み物
ホテル
トラベル
宿泊
交通機関



このようなもてなしは賄賂とみな
されます:
- 妥当な金額ではない。
- 過度である。
- ビジネス上必要なものとは言え
ない。

利益相反行為



私たちは常に当社の利益を最優先して行動しなければなりません

- 利益相反行為、もしくはそのようにみなされないよう行動してください。
- 意思決定は、**客観的**かつ**偏見のない公正な観点**から行ってください。
- 正確な意思決定を阻害したり**直接影響を与えるような外部の利害**に関わらないようにしてください。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

利益相反行為とみなされる例

外部との経済的利害関係

MTSの競合他社、サプライヤ、顧客と経済的利害や関係を持つこと

ビジネスでの競合

MTSの競合会社、またはサプライヤや顧客となる形で事業を立ち上げる

非公開情報の利用

個人的利得を得るために、MTSの機密情報や取引情報などを利用すること

個人的な関わり

MTSのポリシーに反する形で、他のMTS社員と個人的な関係を持つこと

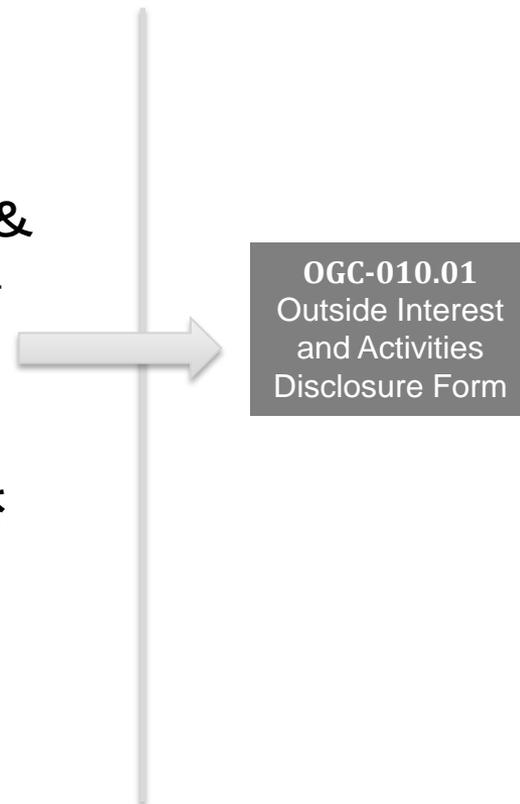
ギフト/心づけ

MTSのポリシーに反する形で、競合他社、サプライヤ、または顧客へ贈答品を贈ったり、あるいは受け取ったりすること

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

次の点に注意してください:

- ☑ 正当な理由があって外部のビジネスに関わる際は OGC-010.01 申告フォームに記入して提出し、VP およびリスク & コンプライアンス部 オフィサー (ORC) から承認を得る必要があります。



非営利団体の役員を務める際には ORC に申告してください (承認は不要)。

- ☑ 非営利団体とは、宗教団体を除く慈善事業、教育等の団体のことを指します。

外部業者との関わり

MTSは、ビジネス パートナー、ベンダー、サプライヤ、顧客、エンドユーザーに対しても、法律に従い、コンプライアンスや倫理を守った行動を期待します

- 当社の倫理規定や法律の遵守について、共通した精神をもった人たちと仕事をするようにしてください。
- 外部業者と契約を交わしビジネスを行う際は、社内の規定に沿って行ってください。
- 不明な点がある場合は、リスク&コンプライアンス部門もしくは法務部へ問い合わせてください。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

結局のところ、我々が誇りとすべきは、一人ひとりの正直さや誠実さ、良識に他ならないのです

法律やコンプライアンス、倫理規定に沿った行動がどのようなものかは、明文化されたいかなる規則をもってしても、完全に定義することは不可能です。

本規定を通して:

- MTS社員としてふるまうべき行動を理解します
- 疑問を解決する手がかりとします
- 問題が起きたときはどこへ相談すればよいのか把握します

自身の良識をもって:

- 正しい行動をとります
- 倫理的観点やMTS理念をベースにして決断をするようにします